

N. N. 2022年卒 地域マネジメントコース

こんな学生時代を過ごしました

学生時代は実習やゼミ活動を中心に、常にスケジュール帳にはびっしり予定が入っているような充実した毎日を過ごしました。

実習では猪倉実習に所属し、農業をツールとした地域活性化を学びました。実習先の方々は、農業の知識も経験もない私たちにも温かく接してくださり、大変ありがたい環境で活動することが出来ました。

また、2,3年次は実習リーダーも務めました。私自身リーダーとしての素質があるタイプではないですが、先輩や同期、後輩に恵まれながら、責任感や決断力を身に付けることが出来たと感じています。

ゼミ活動においては廣川ゼミに所属し、フットパスを中心とした歩く観光まちづくりについて学んでいました。フットパスを通して全国各地の今ある風景の美しさや、街や人の魅力をたくさん感じた経験が、今の仕事においても地域の魅力を見つけ出す力やより多くの人に届けたいという想いに繋がり、活かされていると思います。

私には、大学入学前に立てていた目標が一つありました。それは「在学中に全国47都道府県すべてを訪れる」ということです。もともとは海外に行きたい願望があり、そのためにまずは日本のことをしっかり理解したいという想いで立てました。マイルールとしてその土地の名産を食べることを設けており、仮に愛知などを例に挙げるとするならば、王道のきしめんや味噌カツなどはもちろんのこと、モーニング発祥の地であるという文化を楽しんだりと、楽しみ方は自由です。あいにくコロナウイルスの流行により目標達成には至りませんでしたが、プライベートも含め充実した日々を過ごすことが出来たのもこの目標のおかげだと感じています。

振り返ってみても全ての選択、経験がこれを選んでよかったと思える学生生活でした。



卒業式の後に実習メンバー全員で実習先を訪れた際、地域の方々からお祝いのケーキを頂いたときの写真です。コロナウイルス流行により思うように実習活動ができないままの引退となりましたが、最後にこれまでの感謝を伝えることが出来ました。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

卒業後は株式会社星野リゾート・マネジメントに就職し、ホテル運営スタッフとして働いています。主な業務内容はフロント応対や客室清掃、調理仕込みなど、施設の運営に関わることを一貫して担当しています。

業務の内容は多岐にわたるため、覚えることもたくさんありますが、お客様とのタッチポイントが多い点や様々な視点からよりスマーズに滞在を提案できる点だけでなく、スタッフ同士がそれぞれの業務内容を理解していることにより、相手の立場を具体的に想像し、思いやりを持って働くことが出来るのも働くうえでの魅力だと感じています。

入社後は3年半、『界 阿蘇』という施設で働き、現在は2025年12月に開業を迎える『リゾナーレ下関』に異動しています。『リゾナーレ下関』の開業メンバーへのチャレンジは入社当時の目標であり、そこに向けて『界 阿蘇』でスキルを積んできたため、念願の挑戦です。

また、北九州市で育った自分にとって身近な下関市での開業にはとてもワクワクしています。今後は『リゾナーレ下関』を通して、下関や北九州エリアをより盛り上げていくことが出来れば良いなと感じています。



『界 阿蘇』にて大学案内用の撮影をしていただいたときの写真です。このような形で母校に少しでも恩返しをることができ、嬉しく思っています。

現役生へのメッセージ

現役生の皆さん、楽しい学生生活を送っていますか。

日々の授業やアルバイト、私生活、就活など、考えることは日々次から次へと押し寄せてきますよね。

私もてんてこ舞いの毎日を送っていましたが、絶対に蔑ろにしなかったのは自分らしく楽しむことです。

特に就職活動においては、内定のためにインターンシップやボランティアに参加することもあるかと思います。

それももちろん大切ですが、「自分が納得してそれに取り組むことができているのか」「やってよかった経験として人に話せるのか」と、何よりも自分がどう捉えるのかに気付いてあげることが大切だと思います。

かけがえのない時間をどうか有意義に過ごせますように。応援しています。